

第18回体の動きを高める運動領域部会記録

参加者 河野 古川 岡田 畠中 山本 藤原 藤井 坪根 大川

常任理事 佐々木校長 高草木校長

指導主事 森田指導主事

1 佐々木常任理事より

実証授業が間近に迫っておりますが、教師の働きかけや言葉かけが主体的・対話的で深い学びにどうつながっていくのか最後詰めていくところだと思います。頑張りましょう。

2 学習過程の確認

(1) 追加点について（実態調査）

Google フォームを活用して、実態調査を実施した。

「何のために体の動きを高めませんか？」という質問に対して、2割が「分からない」、「5年生の体の動きを高める運動では、どのようなことを学習しましたか？」3割が「よく覚えていない」と回答し、また、6割が「長なわ、短なわ」を経験した運動で回答している。

(2) 学習過程について

- ①子供たちが自ら学習課題を見だし、学んだことを修正・活用することができるように、簡単な見通しを3時間分立てて取り組める学習過程。
- ②「計画」を「簡単な見通し」に変更。
- ③教師の働きかけについて、今日は検討したい。
- ④「第0時」は「単元に入る前に」に変更。
- ⑤「Google フォーム」は「オンラインアンケート」に変更。
- ⑥「ロードマップの作成」=学級全体の活動「学習カードを記入することも含む」
- ⑦学習カード活用について、詳しく説明するページはない。→学習カードの活用の仕方を入れる。
- ⑧運第1時については、運動が終わった後に、整理運動を行う。

(3) 教師の働きかけ（岡田案）

【教師の働きかけの明確化】
「教師は何を教え、学習は何を学ばせるのか」を明確にすることで、学習主体の学習から学びのある学習に転換できると考え、本部会が決定した授業の型に対して、教師がどのように働きかけていくかを定めた。

授業	単元	第1時 1	第2時 2	第3時 3
体の動きを高める 目的に即する 学習課題を見だし ている。	準備は、自分のやりたい運動をやってみよう。	【学習資料の提示（動きの4要素）】 「アホモン・アホモン・アホモン」を繰り返して運動しを準備する。 「準備の「アホモン」を繰り返して運動する」というおもしろい式にする。	どれやるか何が高まるかな？	高めたいことを友達に伝えてみよう。
体の動きの 高め方 に関する学習課題を見 だしている。	何をすればいいのかな？	【学習資料の提示（動きの4要素）】 「アホモン・アホモン・アホモン」を繰り返して運動しを準備する。 「準備の「アホモン」を繰り返して運動する」というおもしろい式にする。	何が出来るかな？	何を高めようかな？
自分の動きを 修正、活用 する学習課題を見 だしている。	どうすれば、この動きが高まる？	【運動プログラムの活用】 「運動プログラムを使って運動の準備をする」というようにする。 「準備運動にそって運動を始める」というようにする。	体の動きを高めるにはどうすればいいかな？	もっと体の動きを高めるにはどうすればいいかな？
	次は何をしようかな？	【学習カード、運動プログラム】 「アホモン・アホモン・アホモン」を繰り返して運動しを準備する。 「準備の「アホモン」を繰り返して運動する」というおもしろい式にする。	どうすればいいかな？	どうすれば高まるかな？
	運動のこつは何か？	【自分の動きを修正、活用】 「アホモン・アホモン・アホモン」を繰り返して運動しを準備する。 「準備の「アホモン」を繰り返して運動する」というおもしろい式にする。	何の工夫をしたのかな？	次は、どうしたい？
	どうしてできたのかな？	【学習カード、運動プログラム】 「アホモン・アホモン・アホモン」を繰り返して運動しを準備する。 「準備の「アホモン」を繰り返して運動する」というおもしろい式にする。	どんな工夫をしようかな？	自分に合った動きかな？

①子供の問いが上に置いて、教師の働きかけを下に示す方が、子供主体の意図が伝わるのではないか。

(4) 教師の働きかけ(山本案)

①単元の序盤・中盤・中盤の教師のかかわりと、学習課題1・2・3への働きかけを両方載せると、一般化を図る際に難しいと考え、シンプルに作成した。

		031028 山本	
		子どもの問い	教師のはたらきかけ
単元序盤		何をすればいいのかな？	プロモーションムービーから運動を選んでみよう。
		次は何をしようかな？	運動アプリから、まだやっていない運動を選んでみよう。
		どうしてできたのかな？	動画で自分の動きを見て、コツを見つけてみよう。
単元中盤		何ができるかな？	(体の動きの4要素を提示し) 何が高まりそうかな。
		どうすればいいのかな？	(要検討)
		どんな工夫をしようかな？	姿勢や用具を覚えてみたらどうか。
単元終盤		何を高めようかな？	(スキヤモンの発達曲線を見せて) 今は、「巧みな動き」「体の柔らかさ」が高まりやすいよ。
		どうすれば高まるかな？	(要検討)
		自分に合った動きかな？	(ロードマップを見せながら) 次はどうしたいのか、選んでみよう。

(5) 教師の働きかけについて

- ①教師がどの場面で、どのようなかかわりをしていくのかを明確にしていく。
- ②シンプルに示すか、具体的に示すか整えた方がよい。
- ③子供の問いは「山本案」、教師の働きかけは「岡田案」を採用する方向で考える。
- ④書式は「山本案」を採用。
- ④活用してもらいやすいことを考え、一般化を踏まえた資料の作成を進める。
- ⑤「岡田案」の資料は残しておく。
- ⑥子供の問いは、モクモク(テキストボックス)で示す。
- ⑦働きかけは、言葉かけではなく他の働きかけも含まれると考える。

		単元前半	単元中盤	単元終盤
体の動きを高めることの目的に関する学習課題を見いだしている子供	子供の問い	何をすればいいのかな	何ができるかな	何を高めようかな
	具体的な手だて	プロモーションムービー	体の動きの4要素	スキヤモンの発達曲線
	教師の言葉かけ 教師の働きかけ	まずは、自分のやりたい運動をやってみよう ・プロモーションムービーを使って見直しを支援。やってみよう。楽しそうという思いを大切にさせる。	何が高まりそうかな？ ・体の動きの4要素を提示し、「体の動きを高める」から、「巧みな動きを高める」のように目的をより明確化できるようにする。	高めたいことを友達に伝えてみよう ・友達に目的を伝えて意識して運動に取り組めるようにする。 ・スキヤモンの発達曲線を使って、巧みな動き、柔らかさが高まりやすい時期であることを伝える。
体の動きの高め方に関する学習課題を見いだしている子供	子供の問い	次は何をしようかな	どうすればいいのかな	どうすれば高まるかな
	具体的な手だて	運動アプリ	学習カード・指示物	体の動きの高まりの実感
	教師の言葉かけ 教師の働きかけ	やっていない運動はないかな？ ・運動アプリを使って運動例を紹介し、なるべく単元前半に多くの運動を経験できるようにする。	どうやったらできたのかな？ ・もとの動きを示し、運動のポイントや工夫を指示物で、学級全体に共有していく。	どうして、〇〇が高まったと思ったかな？ ・自分なりの体の動きの高まりの実感を明確化できるようにする。
自己の取組を修正、活用する学習課題を見いだしている子供	子供の問い	どうしてできたのかな	どんな工夫をしようかな	自分に合った動きかな
	具体的な手だて	動画の撮影	学習カード・指示物	ロードマップ
	教師の言葉かけ 教師の働きかけ	運動のコツは何かな？ ・即座に書出し、ポイント発見できるようにする。 ・自分の動きを動画で確認できるようにする。	何の工夫をしたのかな？ ・前に取り組んだ運動の工夫を新しい運動と関係付ける。 ・工夫の視点を示す。	次は、どうしたい？ ・「もっとできるようになりたい動き」や「あと少しでもできそうな動き」を選べるようにする。

※子供の姿をイメージしないと作れなかったのも、問いの分類をもとに単元の前半・中盤・後半での児童の様子を想定しました。

- ⑧中盤に子供の「どうしたらいいかな？」に対しての、教師の言葉掛けについては、「掲示物や資料を見てみよう」に変更。
- ⑨終盤の「どうすれば高まるかな？」については、高まりの実感を気付かせる問い返し、
- ⑩友達とのかかわりの中で、高まりの実感をしていく視点で気付かせていく言葉かけも必要ではないか。
- ⑪「高まりの実感」を「高め方」の一つと考える。
- ⑫「どうすれば高まるかな」→「自分の動きは高まっているのかな」
- ⑬5年生で高まりの実感は、学んでいるので「自分の動きは高まっているのかな」
→「はじめの動きと比べてどうかな」、
- ⑭「岡田案」の教師のはたらきかけを、場面ごとに分けて学習過程に入れ込む。(担当：岡田)
教師の働きかけも「山本案」「岡田案」をミックスして作成(担当：岡田)

3 本時案の検討

(7) 本時の学習 (6/10)

① 本時のねらい

自己の体力に応じて取り組む動きを選んだり、動きに工夫を加えたりすることができる。

② 本時の展開

学習活動	○教師のかかわり ②配慮児童への支援	□評価
1 学習課題を確認する	自分に合った動きを選んだり、工夫したりして体の動きを高めよう！	
2 ロードマップで前時の学びを共有する	○前時の学びから 問い「自分に合った学びだったのか」を どうやって解決していくか、共有する。 ○音楽を使って行う。	
3 準備運動		
4 体の動きを高める運動に取り組む	場の設定 舞台 巧みな動き 力強い動き 柔らかさ 持続	□自己の体力に応じて取り組む動きを選んだり、動きに工夫を加えたりしている。(観察・発言)
【運動に取り組んでいるときの教師のかかわり例】 「やってみてどうだった?」 一人一人に合った働き掛けをするために子供の状況をつかむ 活用 「OOが高まりました。」 「なんでそう思ったの?」 「次はどうしたい?」 「OOの工夫してもっと動きを高めよう。」 高まりの実感 修正A 「上手いきません...」 自分に合った動きだったかな? もう少しでできそうな動き? 修正B 「???」「分かりません」 動きのポイントを確認してみよう。 友達の動きを見てみよう。 動画で自分の動きを確認してみよう。		
5 整理運動・片付け	○使った部位をほぐすとともに、自分の学習を振り返る。	□自己の体力に応じて取り組む動きを選んだり、動きに工夫を加えたりしている。(観察・発言)
6 振り返り	○活動を通して感じたことを振り返る。 次時の見通し・学習課題の修正を促す。	
【運動を振り返っているときの教師のかかわり例】 「やってみてどうだった?」 一人一人が自分の学習課題に対して運動を通して取り組み実感したことを振り返る。 「自分に合った見通しだったかな?」 より自分に合った見通しにするために、次時の見通し・学習課題の修正を促す。		

- (1) ロードマップの例を入れるかどうか?
- (2) 「できた」「できない」で判断して、働きかけを考えていく
- (3) 活用・修正できない子供への働きかけ

「〇〇を見てみよう」などの具体的な働き掛けが必要なのか？

(4) より自分に合った見通しになっているか問い返す

(5) 表記の仕方

- ①教師の働きかけの表記は、活用編と修正編に分けて整理すると見やすくなる。
- ②子供が変容している中で、教師がどのように働きかけていくかを見やすくしていく方向でよいと思う。
- ③1番と2番は逆なのではないか？
→前時の振り返り（ロードマップの確認）があって、学習課題を確認する。
- ④評価について、前半は（観察・発言）、後半は（学習カード）で見取る。
- ⑤一人一人学習課題が異なるが、学級全体で供する必要があるかどうか。
共通課題はなしにして、「一人一人の学習課題を確認してね」にする。
- ⑥○教師の働きかけ、◎配慮児童への支援の表記を見やすくする。
- ⑦子供と教師の言葉の整理が必要。問いと捉えるのか、反応と捉えるのか？
- ⑧「自分に合った見通しだったかな」は1時間の見通しなのか？3時間の見通しなのか？
→「自分に合った運動だったかな？」「自分に合った学習課題だったかな？」「自分に合った運動だったかな？」というような言葉かけに変えていく。
- ⑨「〇〇させる」の表記は「〇〇のように促す」に変更していく。
- ⑩言葉にこだわって、授業を展開していく。
- ⑪活動の表記は、「〇〇をする」と表記する。「学習内容」と「学習活動」で表記の仕方は異なる。
「内容」は「体言止め」。
- ⑫児童のイラストは変える。
- ⑬片付けの働きかけは、「学習に必要な物や用具の準備などで、役割を果たせるように言葉をかける」にする。

4 各資料の確認

(1) アプリの資料を説明する資料を学習資料として、指導案に入れる。(担当：山本チーム)

5 畠中教諭の確認

- (1) プロモーションムービーが使いやすい、場の準備にも生かした。
- (2) 体の柔らかさを高める運動の場は、平場なので場も工夫が必要。ゴムを使ってくもの巣をつくるなどの工夫が必要。一人でも、取り組める運動の場を設定していく。
- (3) エアロビは、ループで流していく。
- (4) 運動アプリは、行い方を把握する資料として子供は活用している。
- (5) ロードマップ、問いマップ、学習課題の設定は時間的に難しい。学習課題の設定は第2時へ。
- (6) アンケート結果は、第1時の学習で生かせる。
- (7) ロードマップで問い、課題、結果（実感）をセットに子供たちと共有できるとよいのではないかと。
→ロードマップの課題は、本時の取組の中で振り返らせるのか？
→6年生では、よい取り組みを紹介することで、個人の学びを共有できるようにしていく。
- (8) 子供と運動との出会いはよかった。
- (9) 運動例資料は大きく印刷して、体育館に掲示して子供たちが運動の行い方を共有する資料として活用していく。
- (10) 第2時から自分の学習課題を意識して取り組む子供も現れた。
- (11) タブレットは運動中見ない。教師が意図的に指示を出さない限り見ない。必ず使わなければいけないということではなく、使っている姿を価値付けていく。

6 河野部長より

(1) 今後の予定

- ①美越指導主事に指導をいただく
- ②畠中先生から随時授業の様子を受けて、連絡を取り合う
- ③会場準備について
- ④資料の送付について

7 常任理事・先生方より

いよいよ、授業のかたちが見えてきたが、子供の実態を踏まえて指導内容を変更していくことも必要になる。

部会以外の先生以外の先生方からご意見をいただく機会は貴重であるので、今度の研究に生かしていきたい。